

茨城陸上競技協会  
競技委員会 高畠 香

令和6年度 審判講習会（競技委員会より）

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～
- 2 各種競技会における報告事例
- 3 その他

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～
  - (1) 迷惑撮影の実態と対策
  - (2) ロードレースにおける助力の認識

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～
  - (1) 迷惑撮影の実態と対策
 

迷惑撮影対策実施率  
**100%**

    - 一方で、約70%が迷惑撮影に関する不審者の対応を収録。（直近2年）
    - 警察案件に発展したことがあると回答した団体は、約40%による。（過去2年）
    - コロナ禍前後での不審者（迷惑撮影）の 増減ナシ。

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～
  - (1) 迷惑撮影の実態と対策
 

実施している対策

    - アナウンスによる注意喚起 (39)
    - 競技役員・スタッフによる巡回 (38)
    - 場内への警戒サイン・看板設置 (34)
    - 大型映像での注意喚起 (31)
    - プログラム広告知 (29)
    - カメラ持ち込み申請 (19)

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～
  - (1) 迷惑撮影の実態と対策
    - その他
      - ・入場者の整理
      - ・警察・犯罪専門スタッフによる巡回
      - ・カメラ撮影エリアの設定
      - ・QRコードによる通報フォーム設置
      - ・大型パネルの設置

大会規模や開催地の状況などにより、工夫をして対策を実施  
コロナ前と比較し、観衆や専門家との連携した活動も増えていました。

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～
  - (1) 迷惑撮影の実態と対策
 

不審者が多い世代（対象）

    - 高校生 (22)
    - 一般 (11)
    - 大学生 (3)
    - 小学生 (1)

不審者が多い種目（対象）

    - トラック種目 スタート地点 (19)
    - 走幅跳・三段跳 (10)
    - 走高跳 (7)

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

その他  
・女子セパレート着用種目  
・フィニッシュ地点

特に女子高校生のトラック種目  
や競艇種目は注意が必要

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

不審者が多い競技以外の場所

○撮影式 (5)  
○フィニッシュ後 (4)  
○トイレ (3)

競技以外で事例の多い3項目については、対策が必要（次頁）

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

その他  
・競技前の発砲時  
・選手紹介のタイミング  
・競技中いつでも  
・スタンド  
・補助競技場・サブトラ  
・選手陣地（テント）

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

引き続きのお願い事項

☆会場整備・啓発活動の徹底

トイレへの啓発ポスター・チラシ掲示



☆競技運営面の工夫

表彰式での所属ウェアやTシャツ着用の推進

レース後の速やかな誘導と、安全な導線の確保

☆地域官轄警察署との連携

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

陸連主催大会での取り組み例

☆1階層通路下での撮影禁止（スマホ・タブレットのみ可）

☆100mスタート後方の撮影禁止エリア設置

☆通報フォーム（QRコード）設置

☆アスリート委員会との取り組み（リボン活動）

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(2) 助力について（ロードレース）

【競技規則（助力に関するルール）の再確認】

転倒や意識混濁、疾病等により明らかに通常歩行や競技続行が困難となり、立ち止まりや横臥等の行動を行う競技者に対して、審判員や公式の医療スタッフが声掛けを行うことは、助力とは見なさない。

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～  
(2) 助力について (ロードレース)

【競技規則 (助力に関するルール) の再確認】

本人がなお競技続行の意思を持っていても、競技者の生命・身体保護の観点から審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることができる。

- 1 安心・安全 information  
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～  
(2) 助力について (ロードレース)

【競技規則 (助力に関するルール) の再確認】

審判長の権限を技術総務、競走審判員、監察員等に委任しておく必要がある。

2 各種競技会における報告事例

- (1) 第107回日本陸上競技選手権大会 大阪陸上競技協会  
(2) 第107回日本陸上競技選手権大会・混成競技 秋田陸上競技協会  
(3) 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 北海道陸上競技協会  
(4) 第50回全日本中学校陸上競技選手権大会 愛媛陸上競技協会

2 各種競技会における報告事例

- (1) 第107回日本陸上競技選手権大会 大阪陸上競技協会

女子100mH決勝において、ライブリザルトの際に4位の選手を1位と表示した(判定中のものが瞬時に電光に表示されるシステムであった)

誤りに気付いた電光係が、すぐに画面を切り替え、15秒後に正しい結果を表示した。

ライブリザルトの表示は選手や観客の為に推奨されているため、本大会においてもこの方針で運用していた。

関係部署(総務・進行・アナウンス・電光等)との連携、対応方法の検討を重ねる。

2 各種競技会における報告事例

- (2) 第107回日本陸上競技選手権大会・混成競技 秋田陸上競技協会

【事案】

盗撮行為が疑われる事案が3件ほど発生した。

【対応等】

事前の対策として「撮影禁止エリアの指定」、「100mスタート位置後方へのパーティションの設置」、「アナウンスでの呼びかけ」、「警備員の巡回」を行っていた。今回、盗撮が疑われた観客の中の1名には事務室まで同行してもらい、総務員が確認しながら撮影した画像を削除してもらった。

2 各種競技会における報告事例

- (3) 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 北海道陸上競技協会

【事案】

男子3000mSC・1組目。スタート後の第1障害で、先頭の選手が障害直前で足が合わず体で激突。障害が倒れ、すでに跳ぶ動作に入っていた選手達は転倒した。後続の選手達は一度立ち止まり、その後倒れたままの障害を越えてレースに戻った。トラック審判長がレースを中止するように大きな声をかけたが、その声が選手達に届いたのはスタートから300m程進んだ最初の水壕付近だった。

2 各種競技会における報告事例

(3) 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会  
北海道陸上競技協会

- 1 「選手全員が障害を越えていないので記録が公認されないこと」
- 2 「転倒により怪我をしていると思われる複数の選手もレースを継続していたこと」  
から選手の安全面を考慮してレース中止の判断をとった。  
大会本部と協議の上、4組目終了後に再レースを実施することとした。

2 各種競技会における報告事例

(4) 第50回全日本中学校陸上競技選手権大会  
愛媛陸上競技協会

- 【気象・コンディション・医療体制等について】
- 今大会は暑さというより、「雷雨」特に雷に悩まされた。前日練習時から、不順な天候状態が続き、様々な対応を考えた。日本中体連・日本陸連・愛媛陸協等のご指導のおかげで、無事に大会を終えることができた。
  - 養護教諭7人と医師という救護体制は好評であった。担当役員と養護教諭、医師との連携が密にとれており、安心して運営できた。熱中症による救急車を1回呼んだが、大事には至らなかった。

茨城陸上競技協会  
競技委員会 高島 香

令和6年度 審判講習会（競技委員会より）

ご清聴ありがとうございました。